



# 心理学部

Doshisha University Faculty of Psychology

同志社大学



2016

こころを科学する



社会の根底にある  
こころの本質を  
多面的に解き明かす。

世界がどれだけ発展しても、原点にあるのは人のこころ。ときに心理学は、現代社会を多面的に解き明かす光となります。それゆえ、心理学は今や産業、教育、司法など、実に幅広い分野で活用されているのです。また、本学は約90年にわたって心理学を研究し、多様な領域を学ぶ環境と実践的なカリキュラムを充実させています。心理学を学ぶことは、すなわち「社会を見つめる目」を磨くこと。あなたも、社会に活かせる学びを身につけませんか。

学部長挨拶

## Message



同志社大学 心理学部長  
なかやち かずや  
中谷内 一也教授

### こころをめぐって動き続ける

皆さん、はじめまして。この冊子は同志社心理を知るためのクイック・ツアーになっています。30分ほどの行程で、入学してから社会に巣立つまでのあらましを理解できるでしょう。ツアーの見所として、学生の学びと研究活動、それを支える教員と施設、就職・進学実績、歴史的推移と変わらない方針などが用意されています。さらに、在学中の学生や社会で活躍する卒業生たちの声を聞くこともできます。

同志社心理は論理と証拠によってこころの問題を解き明かすことを旨としています。冊子を読み進めると、おそらく皆さんは学生たちの“動き”を感じるでしょう。皆さんの感じる動きは、その証拠(実験データ、観察事実)を獲得するためのさまざまな活動から生まれるものです。明快な論理と確かな証拠を求めて動き続ける中でこころについて理解を深め、それを活かして社会で活躍する。この方針に賛同される方が新たな一員となることを楽しみにしています。





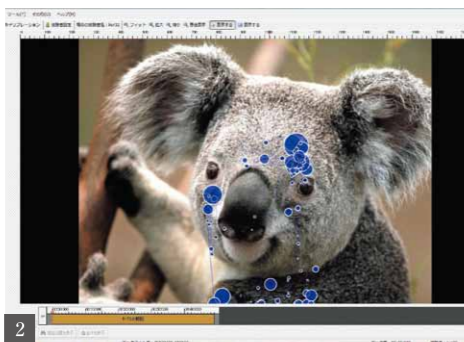
## バランスの取れた 心理学教育と実践

同志社心理が目指すものは、基礎と臨床(応用)のバランスが取れた教育です。基礎だけの教育、臨床(応用)だけに集中した教育は、同志社心理の教育ではありません。人という複雑な対象を理解し、それを実践するには、さまざまな見方が必要です。



## 基礎と臨床をつなぐ

「基礎心理学を主たる研究領域とする研究者は、常に臨床(応用)にも眼を向けなさい。臨床(応用)心理学を主たる業務とする実践家は、常に基礎の知見にも眼を向けなさい。」これは同志社心理に言い伝えられてきた言葉です。



- 1 「視線計測装置」(モニターの前に設置)が目の動きを認識し、視線や注視時間を測定しています。「視覚と行動」「錯覚」「心理変化に伴う視線の変化」「色彩や形に対する認識過程の研究」に使用されます。
- 2 「1」の実験結果で、画像に対する視線の動きと注視時間を示しています。
- 3 マジックミラーやモニターを通し、防音壁で区切られた部屋を観察しています。静かな条件を必要とする研究や心理諸検査の様子を観察・録画します。
- 4 鏡映描写装置によって、知覚・運動系協応の成立過程を確認し、学習に及ぼす集中練習と分散練習の違いを実験しています。

## 基礎

「基礎」研究力とは、科学的な方法論を駆使して、普遍的な知を創出する能力のことを指します。特に心理学では、論理力、観察力、そして分析力を基盤にして、具体的な現象に潜む普遍性を実証的に探求していく能力のことを意味します。ここで得られた普遍性は、時に常識とはかけ離れたものであるかもしれません。しかし、良心に基づいて、臆することなく、それを社会に発信していく必要があります。なぜなら、そのような行為は、自由を守ることにつながるからです。

身につく能力 > 論理力 ○ 観察力 ○ 分析力 ○ 情報収集力

## 応用

「応用」力とは、科学的な方法論を駆使して、社会問題を解決する能力のことを指します。特に、問題となっている場面に即したテーラーメイドな解決方法を提案し、実行・運用していく能力のことを意味します。また、他の専門家と連携しなければならないことが少なくありません。そのような時にこそ、実証に裏付けられた普遍性を踏まえながら、その場で得られたデータに基づいてコミュニケーションを交わす必要があります。なぜなら、そのような行為は、フェアなコミュニケーションを可能にし、相手を尊重することにつながるからです。

身につく能力 > 問題解決力 ○ 創造力 ○ 実行力 ○ 発信力

# 実証的視点と高度な知識を身につけ、 社会に広く貢献する人材を育む。

## 人材養成目的

心理学部心理学科は、こころと行動の仕組みとその機能を実証的に明らかにし、それを通じて実社会への貢献を目指す学問である心理学を、専門的な講義及び少人数クラスにおける演習・実習を通して学び、実証的なものの捉え方、そして基礎・応用心理学に関する高度な知識と技能を身につけ、ひいてはキリスト教主義の精神に基づき、こころの問題を解決する心理学の専門家、広く社会において活躍する人材を養成することを目的とする。

## アドミッション・ポリシー

心理学部は、基礎・応用心理学に関する知識や技能を体系的に学ぶこと、またその基盤となる論理と実証(データ)を重視する姿勢を身につけることを目的としています。「人のこころ」に科学的にアプローチできる能力を活かし、心理学の専門家として、また社会のさまざまな分野で広く求められ活躍できる人物を育成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

## 心理学部の求める学生像

- 1 大学において広い範囲で一般的な教養知識を深めるために必要な日本語および英語の読解能力・表現能力を備えた学生。
- 2 文系・理系を問わず、論理と実証を基礎とした科学的な心理学の探求に関心を持つ学生。
- 3 心理学の専門的知識と技術を土台として社会のどのような領域でも活躍できるような幅広い関心やコミュニケーション能力を備えた学生。

## ディプロマ・ポリシー

- 知識** こころと行動の仕組みと機能に関する実証的な研究法、それに基づく専門的知識、およびその知識を実社会に活かすための方法論が理解できるようになる。
- 態度** こころと行動を科学的に探求し、その知識を核とした幅広い教養を活かし、キリスト教主義の精神に基づき、広く実社会において貢献できるようになる。
- 技能** こころと行動に関して科学的に探求するための研究技能と、社会の問題を心理学的に解決するための応用的技能を適切に用いることができるようになる。

## 心理学部 心理学科 [2014年度以降生]

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
必修科目	講義系	心理学概論(1)	心理学概論(2) 心理学統計法(1) 外国書講読(1)	心理学研究法(1) 心理学統計法(2)	心理学研究法(2) 外国書講読(2)	サイエンティスト・ プラクティショナーの基礎			
	実習・演習系	心理学実験演習(1) ファーストイヤーセミナー	心理学実験演習(2)	心理学実験演習(3)	臨床心理学実習 心理学データ解析実習		プレ演習	演習(1)	演習(2) 卒業論文
選択科目 I	A群 [神経・行動心理学系科目]	生理心理学 感情心理学 スポーツ心理学 学習心理学 神経科学の基礎 認知心理学 行動分析学 精神生理学 比較認知心理学 食行動の心理学							
	B群 [臨床・社会心理学系科目]	臨床心理学 心理療法 交通心理学 パーソナリティ心理学 精神病理学 リスク心理学 健康心理学 実験社会心理学(1) 実験社会心理学(2) 環境心理学 産業・組織心理学 臨床社会心理学 犯罪心理学							
	C群 [発達・教育心理学系科目]	発達心理学 臨床発達心理学 家族心理学 乳幼児心理学 学校心理学 高齢者心理学 生徒・進路指導の理論と方法 ヒューマン・モチベーション 発達と学習の心理学 学校カウンセリング							
	D群 [共通]	心理学情報機器基礎	心理学史 心理学特論		多変量解析法の基礎 心理学実験演習(上級) 心理学実験プロジェクト演習				

## 伝統の少人数教育

本学部では、同志社心理の伝統である「少人数教育」を重視しています。1年次のファーストイヤーセミナーから4年次の演習(ゼミ)に至るまで、全学年で少人数クラスを設置しています。きめ細やかな指導を実現し、教員と学生はもちろん、学生同士もしっかりと向き合える学びの環境が整っています。

## 1年次 [基礎]

### ファーストイヤー セミナー

1年次の必修科目として「ファーストイヤーセミナー」があります。これは少人数のグループで、大学での学びに関する基本スキルを身につけるプログラムです。授業の後半ではグループで選択したテーマについて、ポスター形式の発表を行います。グループワークを通して、仲間や先生と密にコミュニケーションをとり、「考える力」と相手に「伝える力」を育みます。



## 2年次 [実践]

### 心理学実験 演習

こころと行動の基本的性質や法則性を科学的に探るには、実験が欠かせません。1年次から続く「心理学実験演習」では人の記憶や知覚の仕組み、対人場面での行動、動物の学習メカニズムなどに関する実験を実施します。目に見えないこころのプロセスをどのように客観的に測定し、どのように報告するのかなど、サイエンスの手法を段階的に修得します。また2年次からは「神経・行動」「臨床・社会」「発達・教育」の3つのコースから興味のある科目を学べるようになります。



## 3年次 [応用]

### 心理学実験 演習(上級)

3年次の実験演習(上級)では、自分の興味や卒業研究の計画に応じて、さらに高度かつ実践的なスキルを修得できます。例えば乳幼児の研究などに役立つ行動観察の技術を学ぶクラスや、コンピュータを利用した心理学実験を作成するためのソフト「Super Lab」の使用法およびプログラミングを学ぶクラス、ヒトの心拍数などの生理反応を測定するための電極や装置の扱い方と解析法を身につけるクラス、面接法のスキルを磨くためのクラスなどが選択できます。



## 4年次 [探求]

### 卒業論文 ポスター発表

4年次は4年間の学びの集大成となります。学生自身が興味のあるテーマについて卒業論文としてまとめます。演習(ゼミ)で卒業論文のテーマを選択し、大学生活を通して学んできたことを活かして、卒業論文を完成させます。完成した卒業論文は心理学部の教員や学生、またご父母の前でポスター発表を行います。論文作成の中で培われた知識やスキル、経験は将来必ず社会で役立つことでしょう。



# 企画力や実践力、ディスカッション力など、 さまざまな力を身につける。

## 自由に履修できる 3つのコース

本学では学生の視野を広げるために、3つのコースを設置。それぞれのコースで、複雑なところの仕組みを探るための多様な専門科目をそろえています。卒業までに全てのコースから3科目以上履修することが求められます。また、1つのコースから6科目以上履修するとコース認定が受けられます。

コース名	内容	卒業研究のテーマ(例)
神経・行動心理学コース	近年めざましい発展をみせている最新の脳科学や行動科学を学びます。心と行動の神経・生理的な基盤と行動そのもののメカニズムを中心に学習し、心と行動について生物学的・行動科学的に理解する能力に特に秀でた人材となることを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空間認知における脳のはたらき</li> <li>■ ポリグラフ検査における情報既知性についての検討</li> <li>■ 活動性拒食症のラットにおける食事の予期の効果</li> </ul>
臨床・社会心理学コース	心の問題の解決を目指す臨床心理学と社会における心と行動の理解を目指す社会心理学を学びます。心の問題を解決する能力と心理学の知識を対人関係の中で活かす能力に特に優れた人材となることを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ストレス条件下における身体反応と感情</li> <li>■ うつ症状の臨床行動分析</li> <li>■ 返報性の観点からみた試供品配布の効果</li> </ul>
発達・教育心理学コース	生涯発達の観点から心の発達と教育に関するメカニズムおよびその支援の基礎知識を中心に学びます。発達や教育に関連する問題について適切な理解と支援を行う能力に特に秀でた人材となることを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自由遊び場面における乳児の人見知り行動</li> <li>■ 目標が課題達成に及ぼす影響</li> <li>■ 児童・生徒における異年齢交流の教育的効果</li> </ul>

### 演習1 神経・行動

生体の反応から、  
心の動きを読み取る。



心と身体、相互の関係の理解を深める演習です。一般的に「嘘発見器」として知られているものに類似した装置を使用し、質問をされた被験者の「心臓の鼓動が速くなる」「汗をかく」「顔が赤くなる」といった反応から、心の動きを推測します。被験者に電極を取り付けて心電図を測るなど、実際の犯罪捜査などで活用されている方法を学生自ら体験できるのが

魅力です。もちろん、単にデータとして数値を測定するだけではありません。得られた結果の読み取り方などについても議論を行い、心身の関係について理解を深めます。また、さまざまな装置を使用した経験は、学生が論文を執筆する際に、実験の選択肢を増やすことにもつながります。

### 演習2 臨床・社会

検査スキルに加えて、  
適切な接し方も学ぶ。



写真では『ウェクスラー式知能検査』に取り組んでいます。この検査は幅広い年齢を対象とすることができます。中でも成人向けの『WAIS-III』を実施しました。「絵画完成」「積み木模様組み合わせ」といった動作性検査と、「単語」や「算数」といった言語性検査から構成され、言語性IQ(理解力や記憶力など)と動作性IQ(図形や記号の処理

能力など)、そしてそれらを総合した全検査IQに分けて知能水準を算出することが可能です。また、演習では実験者だけでなく被験者の立場も経験するので、検査のスキルに加えて被験者への接し方なども修得できます。学内の演習で経験を積み、学外での検査にも挑戦します。

### 演習3 発達・教育

信頼関係を築きながら、  
楽しませる術を磨く。



さまざまなこころの側面を測る心理検査(知能検査、パーソナリティ検査、投影法)について学びます。写真で行われているのは、子どもを対象とした『田中ビネー知能検査』です。ロールプレイを行って被験者となる子どもの知能指数を算出し、得られた結果を解釈・分析する練習も行います。

子どもを対象に検査を行う場合、特に重要なのが被験者とラポール(相互の信頼関係)を築きながら楽しんでもらうこと、そして手際よく正確に進めることです。この演習では、その両方を修得することができます。他にも多様な検査を行うので、心理検査に興味がある人や、臨床心理士を目指している人に適した実習です。

# 心理学の視点で『インターネット』に迫る。

メールやブログ、SNSなど今や私たちの生活に欠かせないインターネット。  
便利なツールなのは言うまでもありませんが、注意が必要な部分があることも確かです。  
ここでは心理学とインターネットの関係に迫ってみましょう。



## 「顔文字の印象を科学する」

### KEY WORD

#### 感情伝達促進効果

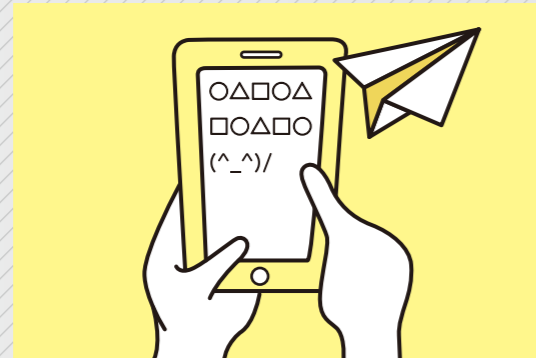
電子メールのメッセージ内容が嬉しいことだった場合、嬉しさを表す顔文字を付けると、相手に嬉しさが増幅されて伝達される現象です。メッセージ内容が怒りや悲しみに関するものである場合は、そのような増幅効果は消失します。

#### 顔文字による勘違いの例

ある女性が事件に巻き込まれました。その女性は電子メールで友達に助けを求めたのですが、なんと顔文字を付けてしまいました。その結果、友達は緊急性が低いと受け止めて、被害者の救出が大きく遅れてしまいました。

#### Google効果

私たちはインターネット上の検索エンジンを使ってさまざまな情報を簡単に検索することができます。しかし、そのような情報はすぐに忘れてしまうことが実験によって明らかになりました。いつでも検索できるという考えが忘却に関連しているのかもしれない。



顔文字を電子メールのメッセージに付けて送信すれば、より正確な感情を相手に伝達できますね。実際に、1文のメッセージに対して、顔文字を付けない条件、顔文字を1つだけ付ける条件、顔文字を3つも付ける条件を設定し、メッセージの受信者がどのような印象を受けるかが実験されました。その結果、顔文字を1つ付けると社会的で友好的だと感じられましたが、3つ付けると逆に社会的ではないと判断され、友好性も下がりました。つまり、付け過ぎると逆効果になることがうかがわれます。

## 「認知心理学」からのアプローチ

## 「臨床心理学」からのアプローチ

## 「社会心理学」からのアプローチ

## 「ネット依存を改善する」



「ネット依存」は、アルコール、ニコチンなどの物質の過剰摂取による依存症とは質的に異なります。しかし、自分の意思で、ネット使用が止められなくなり、日常生活に支障が生じてしまう、という点では似ています。そのため「誘惑に負けない心を育てれば、つまり意志を強くすれば、依存は改善できる」と考えがちです。しかし、そのような発想では、いっこうに依存は改善されません。実は、不適切なネット使用にも、第三者から観察することができる「本人も気づいていない理由」があるのです。それを科学的に調べ、整理し、その人に合った改善方法を見つけていきます。この方法は、専門的には行動分析学と呼ばれ、一般的には認知・行動療法の基礎の1つとして知られています。

### KEY WORD

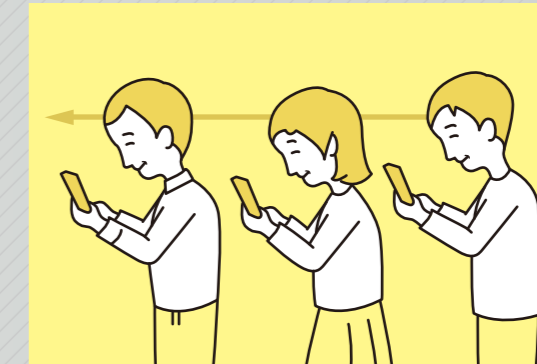
#### 行動分析学

行動分析学は、ヒトの諸活動を、環境と個体との相互作用(=行動)から探求し、行動に関する因果法則を明らかにしていこうとする科学のこです。

#### 認知・行動療法

クライアントの不応答な状態に関連する行動・情緒・認知的な問題を標的とし、行動科学の諸理論や行動変容の諸技法を用いて、それを軽減するとともに、適応的な反応を生起させていく治療法のこです。

## 「フェイスブックの心理実験」



### KEY WORD

#### 感情伝染

ある人が感じているポジティブまたはネガティブな感情を周りの人も同じように感じるようになる現象のこと。主に直接やりとりする中で、表情や身振りといったノンバーバルな表現を通じて伝わるとされています。

#### 研究倫理審査委員会

研究を行う際に、実験や調査の対象となる人や動物に与えるリスクを第三者がチェックするための機関。大学での心理学の研究は、倫理面で問題がないか、必ず審査を受けます。

2014年に発表された69万人のフェイスブックユーザーを対象とした心理実験の結果は大きな波紋をよびました。フェイスブックのニュースフィードの表示から、ポジティブな表現を含む項目を減らすよう操作したところ、ポジティブな投稿が減り、ネガティブな投稿が増えるというように、ユーザーの感情が伝染していくことがわかったのです。ただし注目を集めたのは、直接対面することなくSNSにより感情の伝染が生じるという結果のインパクトではなく、無断で実験台にされたというユーザーの怒りが噴出した点です。フェイスブックの利用規約でユーザーはデータの使用に同意しており、民間企業が実施したため研究倫理審査委員会の審査対象とはならなかったという擁護論はありますが、フェイスブック社は実験が不安をかきたてたことについて謝罪をしています。

# Graduate School

さらなる専門性を究める

同志社大学大学院 心理学研究科。

本学では、1961年に文学研究科心理学専攻修士課程、1964年に同博士課程が設置され、2009年度から心理学研究科となりました。さらに、2011年度からは臨床心理学コースも設置しました。

長きにわたり、サイエンスとしての心理学を基礎とした高度な知識・技術の総合的学習と研究能力の涵養を目指し、基礎研究領域と臨床実践領域のいずれかに偏ることのない総合的な教育研究を展開しています。

財団法人 日本臨床心理士資格認定協会

第1種指定校

※対象は臨床心理学コースのみ

## 国際性豊かで実践的な教育プログラムを通じ、現代社会のニーズに応じられる専門家を育成

現在、こころの問題は社会において広がりを見せ、病院だけでなく、企業、教育、司法の現場などで重視されています。本研究科では、実験心理学的アプローチをベースに、産学官の領域を超えた研究や実践活動を積極的に企画・実施できる人物を育成するために、斬新な教育プログラムを展開しています。また、同志社大学のスケールを活かして海外の研究者と活発な交流が行われています。心理学の専門家として科学の発展に貢献するために、自律的に研究を展開させる意欲と能力を備えた学生を求めています。

### 博士課程(前期課程)

心理学コースでは、心理学の高度な専門知識や研究能力を修得します。また研究センターと連携したインターンシップを授業の中に組み込み、プロジェクトの企画立案など実践的なトレーニングを行います。臨床心理学コースでは、臨床心理学の知識の充実とともに、心理臨床センターや学外研修での実習を通じた実践的な技能を修得します。

### 博士課程(後期課程)

前期課程で培った心理学の知識や技術、実践力をもとに、「プロジェクト特別演習」では、学生自らが共同研究プロジェクトを立ち上げ、研究を推進していきます。研究の成果の多くは国際学会で発表されます。大学内の活動だけでなく、広く社会に貢献できる問題発見能力、問題解決能力をもった研究者、教育者、専門家を育成します。

### [心理学研究科生の声]

学会は、参加者が全くの不自由なく研究に集中できることが理想。しかし言うは易く行うは難しで、準備から当日にかけて何十個もの機の用意や参加者への対応など、スタッフ皆が終始奔走しっぱなしでした。学会が成功したのは、スタッフ個々人の頑張りとお互いの連携があったからこそです。今回、本大会の運営に携われたことは、私の良い経験となりました。また、多くの来場者の前で学会発表を行ったことは、研究者・教育者を目指す自分自身の糧となりました。



日本心理学会第78回大会 [URL]http://jpa2014.com/index.html

#### 当日のプログラム

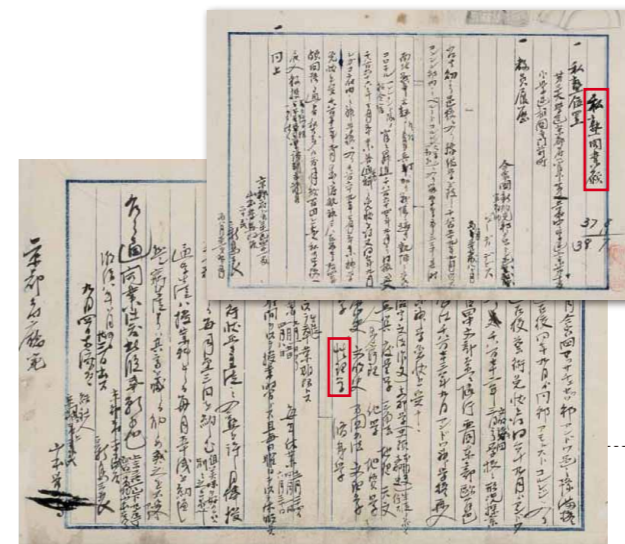
- 招待講演
- 国際賞受賞講演
- 日本心理学会企画シンポジウム
- 大会準備委員会企画シンポジウム
- 公募シンポジウム
- チュートリアル・ワークショップ
- 小講演
- 公開シンポジウム
- 一般研究発表

Faculty of Psychology News

# History

89年の伝統を受け継ぎ進化する、同志社心理の歩み。

2009年4月、同志社大学12番目の学部として開設された心理学部。本学と心理学との関わりは古く、1927年より本格的な実験心理学の研究・教育を進めてきました。今後も長年の伝統と精神はそのままに、次代を見据え、新しい分野や国際化にも対応していきます。



- 2014 「こころの科学研究センター」を設置
- 2013 「実証に基づく心理トリートメント研究センター」を設置  
※2015年度に「実証に基づく心理・社会的トリートメント研究センター」に名称変更
- 2012 心理学研究科 心理学専攻臨床心理学コースが、財団法人日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院に認定
- 2011 心理学研究科では、「心理学コース」「臨床心理学コース」の2コース制がスタート
- 2010 今出川校地・継志館に「心理臨床センター」を開設
- 2009 心理学部・心理学研究科を開設  
これまでの教育目的の根幹である「こころと行動の基本的性質と法則性を実験や調査などを通して実証していく」ことと、「こころと行動に関する臨床・応用研究と実践活動に取り組む」という二つの目的を不可欠な両輪として捉え、2009年に世界水準の新たな学部の開設を実現しました。次代を見据え、世界的潮流に応えた、良心の手腕に運用する人材の輩出を目指しています。
- 2008 「赤ちゃん学研究センター」を設置。
- 2007 文部科学省大学院教育改革支援プログラムに採択される。
- 2005 文学部の改組により心理学科を設置。また「こころの生涯発達研究センター」「感情・ストレス・健康研究センター」を設置。
- 1986 京田辺校地開校に伴い、京田辺心理学実験室を設置。
- 1967 文学部文化学科において教育学専攻と心理学専攻に分離。
- 1964 大学院文学研究科に心理学専攻博士課程を設置。
- 1961 大学院文学研究科に心理学専攻修士課程を設置。
- 1948 新制大学の発足とともに、文学部文化学科教育学及び心理学専攻として再出発。遠藤汪吉、松山義則の各教授が中心となり、新時代の心理学研究・教育の基盤整備を進める。
- 1927 **実験心理学の歴史と伝統は、ここから始まった**  
1927年に文学部哲学科心理学専攻を設置。以来、実験心理学研究を究めていく本学の心理学実験室の伝統が刻まれてきたのです。初代教授の一人、本宮弥兵衛は東京慈恵会医院医学専門学校で医学を学び、同志社神学校で神学を学んだ後、オベルリン大学、イエール大学で実験心理学を修め、本学における心理学実験室の礎を築きました。
- 1875 **新島襄によって開講された同志社英学校の科目「性理学(心理学)」**  
本学における心理学の研究・教育の起源は、同志社大学の前身である官許同志社英学校まで遡ります。新島襄が1875年に京都府に提出した「私塾開業願書」に開講科目の一つとして「性理学(心理学)」が記されています。日本の現代心理学の礎を築いたとされる東京帝国大学の初代教授となった元良勇次郎と、京都帝国大学の初代教授となった松本亦太郎は、ともに同志社英学校草創期の学生でした。

## 教員紹介

# Professors

あなたの知的好奇心に応える、  
20人の心理学エキスパート。

それぞれの[専門領域][現在の研究テーマ]を紹介。  
心理学のエキスパートである20名の教員とともに、  
心理学の世界へ踏み出しましょう!



**中谷内 一也 教授**

**[専門領域]**  
社会心理学  
リスク心理学

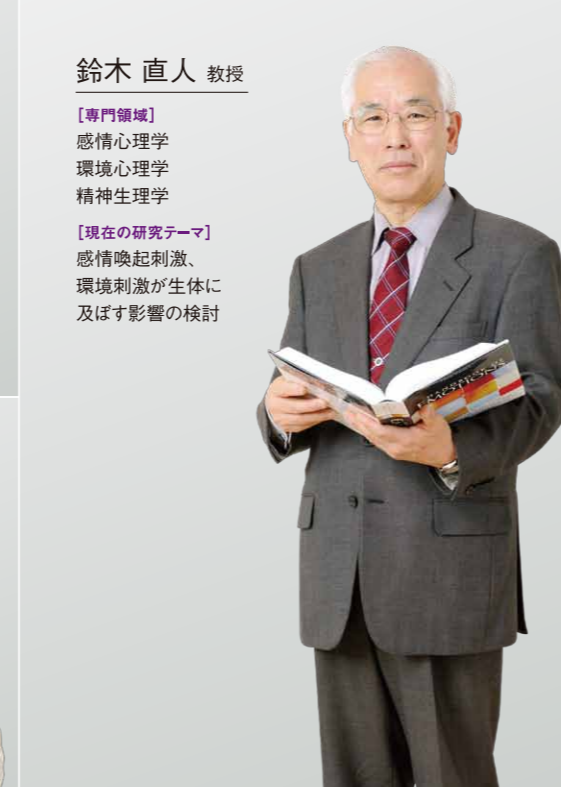
**[現在の研究テーマ]**  
災害や各種リスクに  
対する認識と行動



**畑 敏道 教授**

**[専門領域]**  
生理心理学  
行動学的神経科学

**[現在の研究テーマ]**  
時間評価や記憶の  
脳内過程に関する研究



**鈴木 直人 教授**

**[専門領域]**  
感情心理学  
環境心理学  
精神生理学

**[現在の研究テーマ]**  
感情喚起刺激、  
環境刺激が生体に  
及ぼす影響の検討



**余語 真夫 教授**

**[専門領域]**  
感情心理学  
臨床社会心理学

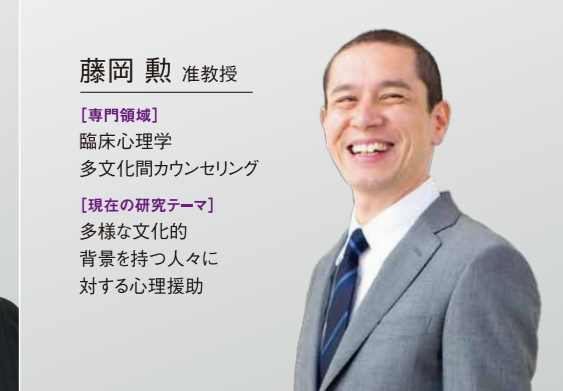
**[現在の研究テーマ]**  
感情の成立と変化の  
メカニズムの解明



**田中 あゆみ 准教授**

**[専門領域]**  
ヒューマン・モチベーション

**[現在の研究テーマ]**  
モチベーションと  
認知機能との  
関係について



**藤岡 勲 准教授**

**[専門領域]**  
臨床心理学  
多文化間カウンセリング

**[現在の研究テーマ]**  
多様な文化的  
背景を持つ人々に  
対する心理援助



**菊谷 まり子 助教**

**[専門領域]**  
認知心理学

**[現在の研究テーマ]**  
顔認知や表情認知の  
メカニズムに関する研究



**菊谷 まり子 助教**

**[専門領域]**  
認知心理学

**[現在の研究テーマ]**  
顔認知や表情認知の  
メカニズムに関する研究



**石川 信一 准教授**

**[専門領域]**  
臨床児童心理学

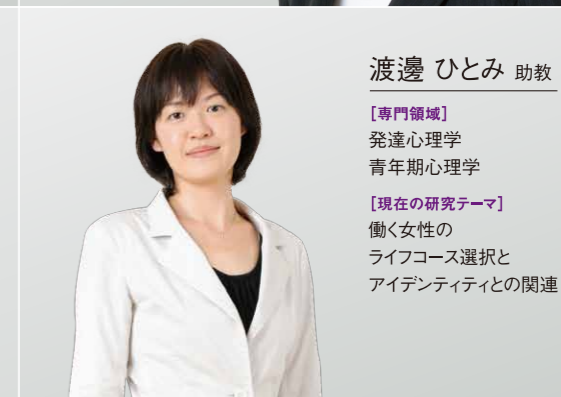
**[現在の研究テーマ]**  
子どもを対象とした  
認知行動療法に  
関する研究



**石川 信一 准教授**

**[専門領域]**  
臨床児童心理学

**[現在の研究テーマ]**  
子どもを対象とした  
認知行動療法に  
関する研究



**渡邊 ひとみ 助教**

**[専門領域]**  
発達心理学  
青年期心理学

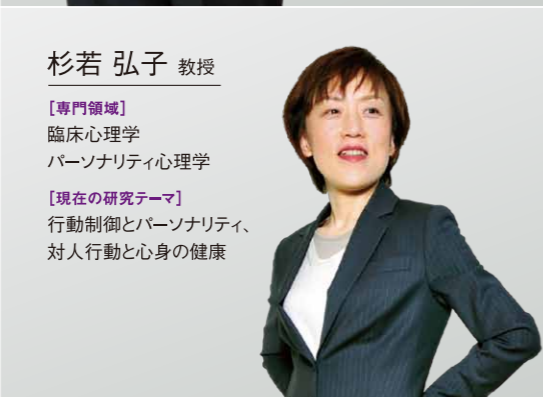
**[現在の研究テーマ]**  
働く女性の  
ライフコース選択と  
アイデンティティとの関連



**武藤 崇 教授**

**[専門領域]**  
臨床心理学  
行動分析学

**[現在の研究テーマ]**  
うつや生活習慣病に  
対する新世代の  
認知行動療法の  
効果に関する研究



**杉若 弘子 教授**

**[専門領域]**  
臨床心理学  
パーソナリティ心理学

**[現在の研究テーマ]**  
行動制御とパーソナリティ、  
対人行動と心身の健康



**及川 昌典 准教授**

**[専門領域]**  
社会心理学

**[現在の研究テーマ]**  
社会的判断や人間関係に  
おける意識と無意識の働き



**伴 碧 助教**

**[専門領域]**  
発達心理学

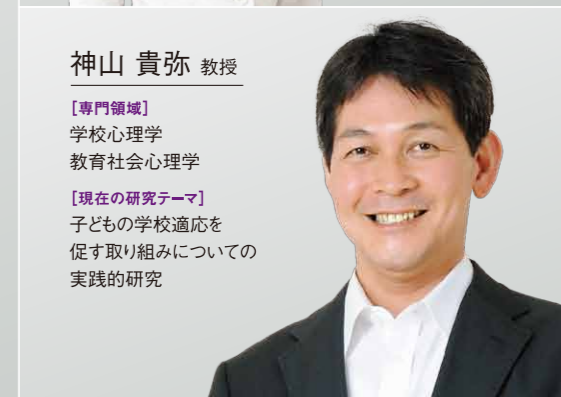
**[現在の研究テーマ]**  
乳幼児の  
想像力の発達、  
Human-Robot  
interaction



**伴 碧 助教**

**[専門領域]**  
発達心理学

**[現在の研究テーマ]**  
乳幼児の  
想像力の発達、  
Human-Robot  
interaction



**神山 貴弥 教授**

**[専門領域]**  
学校心理学  
教育社会心理学

**[現在の研究テーマ]**  
子どもの学校適応を  
促す取り組みについての  
実践的研究



**佐藤 豪 教授**

**[専門領域]**  
臨床心理学  
健康心理学

**[現在の研究テーマ]**  
心と体の健康を  
心身相関の立場から  
研究すること



**興津 真理子 教授**

**[専門領域]**  
家族心理学  
臨床心理学

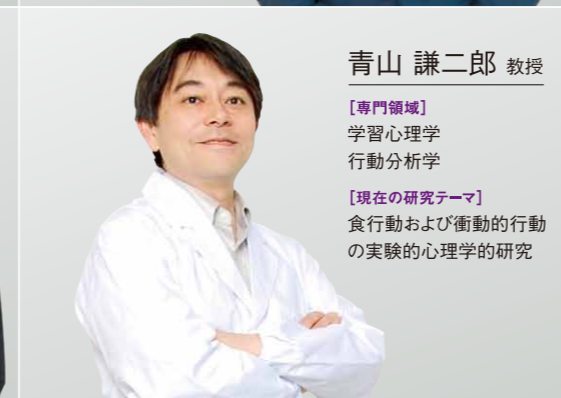
**[現在の研究テーマ]**  
臨床心理的援助における  
家族理解に関する研究



**内山 伊知郎 教授**

**[専門領域]**  
発達心理学

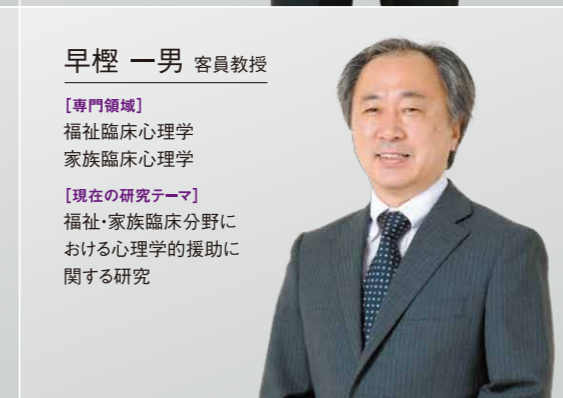
**[現在の研究テーマ]**  
乳幼児の認知・感情発達と  
行動発達の総合的研究



**青山 謙二郎 教授**

**[専門領域]**  
学習心理学  
行動分析学

**[現在の研究テーマ]**  
食行動および衝動的行動  
の実験的心理学的研究



**早攄 一男 客員教授**

**[専門領域]**  
福祉臨床心理学  
家族臨床心理学

**[現在の研究テーマ]**  
福祉・家族臨床分野に  
おける心理学的援助に  
関する研究



**竹原 卓真 教授**

**[専門領域]**  
認知心理学  
ネットワーク科学  
顔学

**[現在の研究テーマ]**  
ネットワーク科学を通じた  
認知心理学的研究



**竹原 卓真 教授**

**[専門領域]**  
認知心理学  
ネットワーク科学  
顔学

**[現在の研究テーマ]**  
ネットワーク科学を通じた  
認知心理学的研究



# Facilities

先進の実験実習施設を備えた  
充実の環境。

京田辺キャンパス<sup>ちしよう</sup>・知証館南館に実験施設が整備され、  
さらに香柏館<sup>こうはく</sup>にも研究室やプロジェクト演習室が設置されました。  
同志社心理ならではの実験的手法を重視した教育と研究を、  
発展させていく環境と設備が整っています。



電気音響シールドルーム  
脳の働きなど微細な生体現象を測定する部屋です。



3次元顔画像撮影解析装置(VECTRA)  
人間の顔を3次元で撮影することができ、あらゆる方向から解析することができます。



一方向気流式飼育システム  
最大160匹のラットが飼育可能な自動給水・洗浄ラックを導入しています。



フリーラウンジ  
学生が自由に学習できる部屋です。



大学院共同研究室  
大学院生用に机やパソコンを整備した部屋です。



ELISA分析機  
ストレスホルモンなどの物質を分析します。



高速液体クロマトグラフィ  
脳内から回収した神経伝達物質などを分析します。



モニター室  
他の部屋の様子を映像でモニタリングします。



環境刺激生体反応モニタリングシステム  
実験参加者を取り囲むさまざまな環境を作り出すことができます。



手術室  
脳の外科的処置や薬理的処置を行います。



凍結マイクローム  
脳切片の標本を作製するための装置です。



スキナー箱  
ラットにレバー押しの学習をさせる装置です。



行動観察室  
主に実習授業で面接の練習や行動観察に使用します。



グループセラピー室  
グループを対象とした心理療法を行う部屋です。



視線計測装置  
認知行動の解析を行うための装置です。

# Talk Session

大学で「こころ」を学んだ、  
私たちの学生生活と  
これから。



## 好奇心と憧れから踏み込んだ世界。学んだのは、人の心の奥深さだった —

— 初めに、心理学部を選んだ理由と入学後の感想を聞かせてください。

**菱田さん** 面白そうという単純な好奇心と、心理学ならどんな分野で働いても活かせると感じたことが理由です。

**東さん** 私も「人の心を読みたい」という憧れからです。周りの考えを気にしすぎて発言に躊躇することが多かったのですが、人の心が読めれば楽に発言できると思いました。そして、学部として心理学を学べる大学は意外に少なく、せっかくならっけり学びたいと考えていた私に同志社は魅力的でした。

**北川さん** 私は高校では理系クラスでしたが、理工学部などにはあまり関心を持ってませんでした。そんなときに心理学が文理融合の学問だと聞き、興味を抱きました。

**中谷内教授** 確かに文系と理系のハイブリッドな学問だと思います。

**東さん** 入学後は実習で実験や分析に取り組む毎日。抱いていた心理テストなどのイメージとは、ギャップを感じましたね。

**中谷内教授** そういう学生は多いかもしれませんが。実は私自身もそうでした。心理学の本をたくさん読



人の心は  
分からない、  
だからこそ  
楽しい。

株式会社北陸銀行／総合職  
4年次生 **東 信之介さん**

心理学部長  
中谷内 一也教授

社会で  
必要なのは、  
論理的に  
説明できる力。



めば、顔を見ただけでその人の心が読めるようになると思っていましたから。

**北川さん** 心を科学的に分析するとは聞いていましたが、想像よりもデータ収集や実験は多かったです。

**東さん** でもすぐに面白いと感じるようになりました。何事にもきっちりしたい自分の性格に、合っていたのかもしれない。1年次から、最先端の機器で実験が出来るのは面白かったですね。

**菱田さん** あと、学生数が少ないことは心理学部の魅力。少人数だからこそ、みんなと仲良くなれました。先生との距離も近いです。

**東さん** 私は地方出身ですが、入学後の合宿はありがたかったですね。すぐに友達ができました。

**中谷内教授** ファーストイヤーセミナーも、学生との距離を縮めるのが狙いです。入学してすぐ大人数での講義だと、教員もそれぞれの学生について把握できませんから。2年次には大教室がメインになりますが、3年次後期にはゼミで少人数に戻り、卒業論文も何度もやりとりします。

— 心理学部で学んだことを教えてください。

**東さん** 人の心は、分からないからこそ楽しいということです。人前で楽に発言するために学び始め

ましたが、むしろ「気にせず接しよう」と思えるようになりました。

**北川さん** 私は10ヶ月間カナダに留学したのですが、現地では周りの目が気になってばかりでした。そんなときに思い出したのが、1年次に習ったスポットライト効果。「人は実際以上に他者から注目を浴びていると感じてしまう」という心理現象です。それからは、周りを気にせず振る舞えるようになりました。

**菱田さん** 1年次から実習の度にレポートを書いたことが、力になっています。論理的な文章を書く力は、就職活動でも役に立ちました。

**中谷内教授** 理論立てて考えることは、4年間を通して力を入れています。仕事で人に何かを提案する場合、主観ではなく根拠に基づいた説明が必要です。

**東さん** グループでの実習が多く、1つのことを人と成し遂げる力も養えました。

**中谷内教授** グループワークの機会は学部全体でたくさんあります。時間の調整など、一人でやるより大変ですが、社会では誰かと力を合わせないといけませんからね。



人の心に  
寄り添った  
サービスを  
提供したい。

日本航空株式会社／客室乗務職  
4年次生 **北川 菜緒子さん**

東京海上日動火災保険株式会社  
4年次生 **菱田 彩香さん**

身につけた  
論理力が、  
就職活動でも  
役立った。



— 就職活動とこれからの意気込みを聞かせてください。

**菱田さん** インターンシップには力を入れました。全部で5社に参加し、そのうち1社は内定先です。他の金融機関と比べて、自分に合っていて「ここに入社したい」と感じました。

**東さん** 私は興味の幅が広く、時間のある限り受けようと思っていたので、全部で30～40社にエントリーしました。その点、北川さんは業界を絞ってからは一直線でしたね。

**北川さん** 接客業のアルバイトと留学の経験から、英語を使い、また幅広くお客さまと接することが出来る仕事として航空業界を志望しました。周りよりエントリー数が少なく不安でしたが、意志を貫いてよかったです。

**東さん** 北陸銀行を選んだのは、色んな立場の人と話せると思ったから。大学で培った論理的に話す力を、営業活動に活かしたいです。

**菱田さん** 4年間で学部が設定する3つのコース（※P.8参照）を全て認定されたことは大きな自信です。この自信を胸にこれからも頑張ります。

**北川さん** 心理学を学び、改めて人には色々な考え方がありと実感。だからこそ、就職してからは人の心に寄り添ったサービスを心がけたいですね。

# OB・OG Interview



心理学の知識や発想を  
仕事に活かしています。

サッポロビール株式会社 東海北陸本部 愛知流通第1営業部  
谷本 陽二郎さん 2014年卒業 (心理学部心理学科)

高校時代に心理学に関する本を読んで興味を抱き、入学を決めました。イメージより理系の授業は多かったですが、大学で得た知識は仕事に応用できています。例えば社会心理学として、商談の際に商品が複数ある場合は、全てではなく各店舗に合った商品に絞って提案した方が交渉が成立しやすいことを知りました。また、別の授業で文字サイズやフォント、色を与える印象も学び、効果的な資料作りに取り入れています。さらに、産業心理や社会心理の仕組みを調べ、仕事で実践することは多いです。心理学を学ばなければ、出てこなかった発想だと感じています。



大学での学びが、検査者としての  
基礎を築いてくれました。

福井県警察本部 刑事部科学捜査研究所  
菅 美知子さん 2009年卒業 (文学部心理学科)

専門性を発揮できる道に進みたいと思い、今の仕事に就きました。ゼミの先輩に科捜研で働いている方が何人かおられ、話を聞いたことは大きかったです。職場ではポリグラフ検査(事件の詳細に関する被検査者の認識の有無を調べる検査)を担当し、大学時代に培った基礎知識や技術をそのまま活かしています。他の職員と一緒に仕事をする場合はあるものの、基本的に検査は一人で実施。常に中立性を保つことが重要です。直接的な成果が見えにくい仕事ですが、これからも向上心を持って頑張ります。少しでも事件解決の役に立てばうれしいですね。



教わった「信頼の大切さ」を、  
今、身をもって感じています。

月桂冠株式会社 近畿営業部 近畿第1支店  
三浦 省吾さん 2012年卒業 (文学部心理学科)

大切にしているのは、得意先からの信頼。社会心理学の授業で「提案者に不信感を抱いている場合、メリットがあっても提案が受け入れられにくい」と学んだからです。営業活動でも、得意先との関係が商品を置いてもらえるか否かを大きく左右すると実感しました。信頼関係を築くために、商品と一緒に提供する酒器をご要望があればすぐに手配するなど、スピーディできめ細かなサービスを心がけています。また、自ら積極的に行動する気持ちやデータを客観的に見る視点など、同志社で心理学を学んで培った多くのことが今の私を支えています。

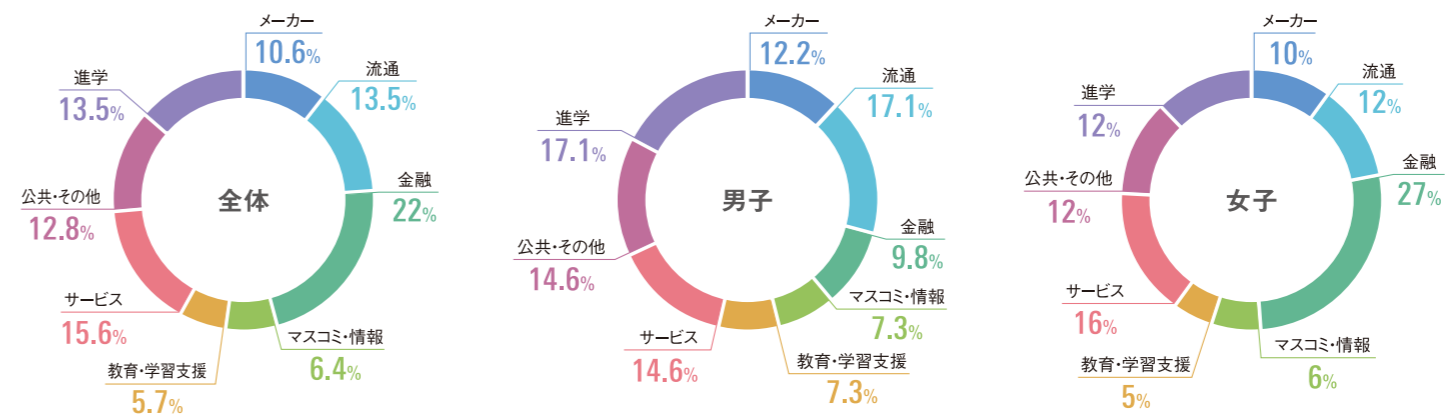
## 就職・進路

# Career

多彩な分野への  
就職・進学が可能です。

学校教諭免許や認定心理士などの資格取得、  
企業や公務員など幅広い業界への就職実績があります。  
また、高度な知識と技術を学ぶ大学院への進学、  
その専門技能を活かした心理家への道もあります。

## 2014年度 卒業生の進路



## 取得できる免許・資格

小学校教諭1種<sup>※1</sup>、中学校教諭1種(社会)、高等学校教諭1種(公民)、  
図書館司書、学校図書館司書教諭、博物館学芸員、認定心理士(社団  
法人日本心理学会認定資格)など。

※1 神戸親和女子大学通信教育学部(男女共学)との提携による

## 2014年度 主な就職実績

### 【就職】

- 日本生命保険
- 滋賀銀行
- 三菱東京UFJ銀行
- 三菱UFJ信託銀行
- イオンリテール
- 高見
- 野村證券
- 八十二銀行
- オリエンタルランド

- 大阪市
- 大丸松坂屋百貨店
- JTB関東
- 日本航空
- 三井住友銀行
- ヤマハ
- ワコール
- 大塚製薬
- ユニチャーム
- 大広

- 名古屋市
- ニトリ
- 東京海上日動火災保険
- 埼玉県
- 石川県

### 【進学】

- 同志社大学大学院 心理学研究科
- 愛知教育大学大学院 教育実践研究科
- 大阪市立大学大学院 文学研究科

## 幅広い業界で活躍できます

これまでの心理学卒業生の実績を見ると、メーカー、金融、商社、  
サービス、情報・通信、公務員など幅広い分野への就職、大学院や海外  
の大学への進学などが挙げられます。業種では、製薬会社、医療関係  
会社、病院、教育・臨床分野、マスコミ、企業のリサーチ部門、児童相  
談所、家庭裁判所、教育産業など、さまざまな分野で活躍しています。

- 大阪大学大学院 人間科学研究科
- 関西学院大学大学院 心理学研究科
- 関西大学大学院 心理学研究科
- 京都教育大学大学院 連合教職実践研究科
- 筑波大学大学院 人間総合科学研究科
- 奈良教育大学大学院 教育学研究科
- 鳴門教育大学大学院 学校教育研究科人間教育専攻
- 法政大学大学院 人文科学研究科

(順不同)

## 学部概要・入試情報

### 学部概要

[学部名称] 心理学部  
[学位] 学士(心理学)  
[学科構成] 心理学科(一学科制)  
[入学定員] 150名  
[設置場所] 京田辺校地: 京都府京田辺市多々羅都谷1-3

### 入試情報

- 一般選抜入試(全学部文系、全学部理系、学部個別)
- 大学入試センター試験利用入試
- 自己推薦入試
- 第3年次転入学・編入学試験
- 外国人留学生入試

# Collaboration

豊かな交流が  
総合的な学びとなります。

京田辺校地を主たるキャンパスとして展開することにより、2008年に開設した生命医科学部やスポーツ健康科学部、また、文化情報学部、グローバル・コミュニケーション学部、理工学部といった学部群と連携した総合的な学びが可能になりました。心理学部は、こころを扱う領域として社会に貢献するため、産業界や教育・医療機関等と連携した実践的な教育・研究を目指します。

## 研究センター

### こころの科学研究センター

Research Center for Psychological Science Doshisha University

「こころの科学」の視点から、研究活動と実践的活動を行います。

当センターは、いじめや体罰などの教育場面での問題や、女性の子育ての難しさの問題、心の病や発達障害を抱える人々の増加の問題など、心理学が中心となる研究領域について、脳科学、行動科学的な基礎研究を実施するセンターです。「こころの科学」をキーワードに3つの研究部門を設置し、それぞれで研究プロジェクトを実施。生涯教育・発達の見点から、子どもの発達支援、教育支援、高齢者支援を視野に入れた実践的研究へ展開することを目的とします。



「ビジュアル・クリフ(視覚的断崖)」の研究

### 実証に基づく心理・社会的トリートメント研究センター

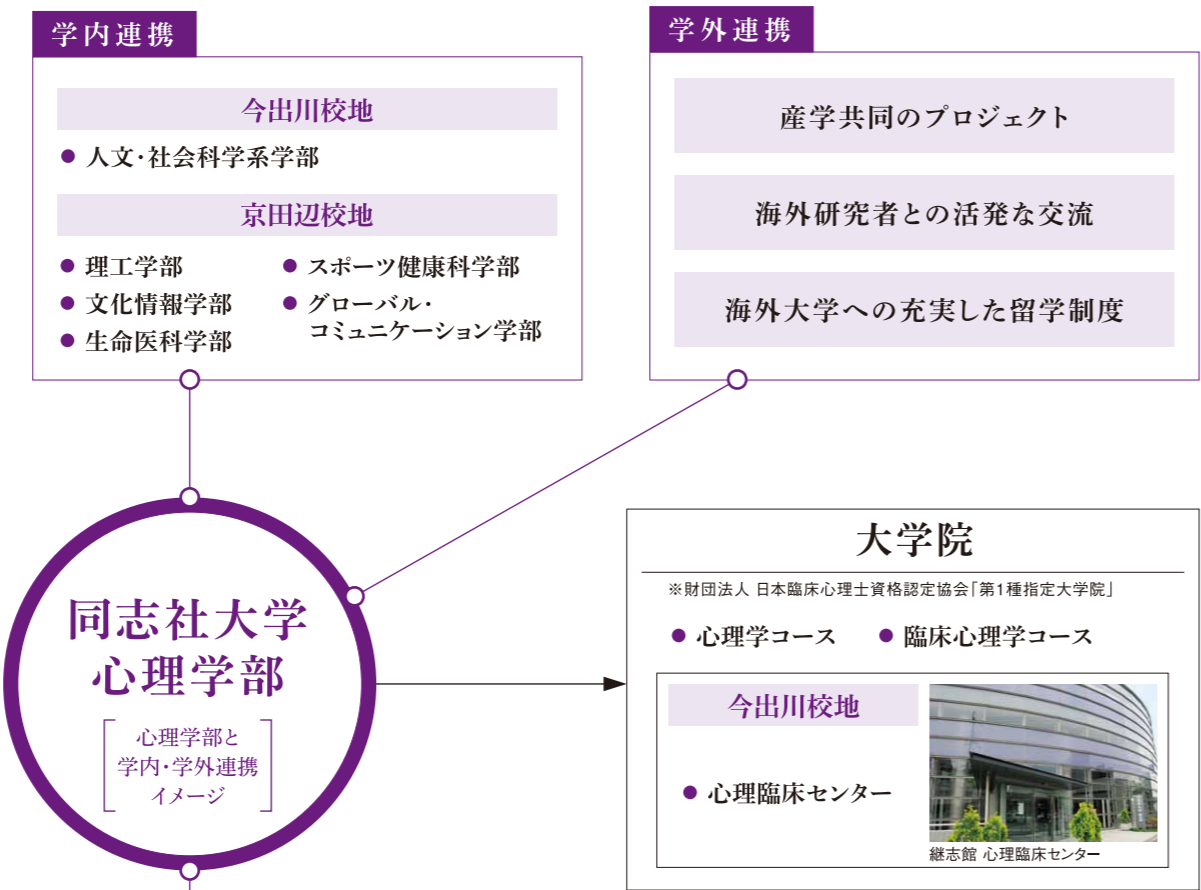
Center for Wing of Empirically Supported Treatments(WEST)

実証に基づく心理療法の開発・普及・研究を目的とした、西日本を中心とした研究者のネットワーク

近年、日本においても「実証に基づく心理・社会的トリートメント」(Empirically Supported Treatments; EST)の開発やその普及が重要視されるようになってきています。本センターは日本でのより本格的な「実証に基づく心理・社会的トリートメント」の開発・普及を推進するため、特に西日本における中心的な役割を担うことを目的としています。



WESTシンポジウム



## 広大なキャンパスに、最先端の教育設備を導入。

1986年に開設された京田辺校地。約8,000人が学生生活を送る総面積79万㎡の広大な敷地に、マルチメディアライブラリを備えたラーネット記念図書館をはじめ、同志社ローム記念館や情報メディア館など、最先端の教育設備がそろっています。



- | 京田辺校地  | 今出川校地  | 学研都市キャンパス  |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>近鉄「興戸」駅から徒歩15分</li> <li>近鉄「新田辺」駅からバスで8分</li> <li>近鉄「三山木」駅からバスで5分</li> <li>JR「同志社前」駅から徒歩10分</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>地下鉄「今出川」駅から徒歩1分</li> <li>京阪「出町柳」駅から徒歩15分</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>近鉄「木津川台」駅から徒歩13分</li> </ul> |



### 同志社大学 心理学部 シンボルマークについて

同志社の象徴であるワイルドローヴァー号と、心理学 (psychology) を表すギリシャ文字のΨ(プサイ)を組み合わせて図案化しました。古典的なエンブレム風のデザインと創立年を示す「SINCE 1927」の文字は、同志社大学心理学部にふさわしい伝統と品位を表現しています。ワイルドローヴァー号の帆を掲げ、新天地へ渡った新島襄の志と探求心が今に生きていることを表す、堂々としたイメージのマークです。



 同志社大学 心理学部

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3 TEL:0774-65-8220 FAX:0774-65-8223  
E-mail:jt-snrjm@mail.doshisha.ac.jp

同志社大学 心理学部ホームページ  
<http://psych.doshisha.ac.jp/index.html>

